

Google Cloud におけるインフラストラクチャ可視性の最初の一步

ハイブリッドクラウドの自動化のニーズを理解する

現在のビジネス分野でのクラウドの状況を調査したレポート¹では、以下のことがわかっています。

- 組織の 80% にハイブリッドクラウド戦略がある
- 組織の 77% が複数のクラウドの管理が課題であると認識している
- 現在マルチクラウド管理ツールを使用しているのは組織の 25% にすぎない

ハイブリッドクラウドの複雑性を自動化で管理する

Red Hat® Ansible® Automation Platform などのハイブリッドクラウド管理向けに設計された自動化プラットフォームを使用すると、プロセス、ポリシー、管理ツールの単一のセットを使用して IT 環境をオーケストレーション、運用化、管理でき、一貫性、スケーラビリティ、速度を向上させ、人的ミスを軽減するために役立ちます。

Ansible Automation Platform が [Google Cloud Marketplace](#) で提供されるようになり、セットアップががたがたしないほどシンプルになりました。また、Google Cloud から直接デプロイする準備も整いました。

エントリーレベルのユースケースに進む前に、まず [Red Hat の自習型ラボ](#) で、Ansible Automation Platform の基本と、automation controller などの重要な機能について確認することが重要です。

Ansible Automation Platform でハイブリッドクラウドの使用状況を理解する

ハイブリッドクラウド管理の重要な柱の 1 つは、インフラストラクチャの可視性と、この可視性を使用して組織のクラウド環境をよりよく理解し、管理する方法を知ることです。

Ansible Automation Platform を使用して、複数の読み取り専用の操作を規定し、これによってクラウドの実行に関する知見をもたらし、プロダクションの変更を必要とするユースケースのリスクを生じることなく即座に価値を実現できます。

Ansible Automation Platform はさまざまな環境やクラウドサービスからの情報を単一のカスタマイズ可能な管理インターフェースに集約することができ、クラウド環境全体を理解するのに役立ちます。

この統一された管理インターフェースを通じて、この情報を使用してインベントリとデータレポートを作成し、クラウド管理に関する意思決定に活用できます。

インフラストラクチャの可視性をどこから始めるか

Red Hat では、新規ユーザーには「crawl-walk-run (ハイハイ - 歩く - 走る)」戦略をお進めしています。すぐに価値を実現できるシンプルでリスクの少ない自動化ユースケースから始めて、そこから長期的な価値をもたらすより複雑なユースケースに進みます。

自動化の導入に取りかかろうとしている企業に役立つ、読み取り専用のインフラストラクチャ可視性のユースケースがあります。

- ▶ **インフラストラクチャに関する情報の取得:** Google Cloud と Red Hat Ansible Certified Content Collections から利用できるサービスを使用して、ステータスおよび構成データを短時間で取得します。これは、Google Compute Engine や Google Virtual Private Cloud など、さまざまなサービスに対して実施することができます。 [Google Cloud](#) 上でインフラストラクチャ・データを取得する方法をご覧ください。 [ラボ](#) でお試しください。

- ▶ **動的なインベントリーの作成:** 動的なインベントリーリストを作成します。このリストは、Ansible Automation Platform がホスト詳細を動的に取得して、自動的に更新します。これにより、常に進化するパブリッククラウドのインフラストラクチャ内のインスタンスの管理と構成が改善されます。また、ホスト情報が常に最新になるようにスケジュールを設定できます。Google Cloud で動的インベントリーを設定する方法をご覧ください。
- ▶ **カスタマイズしたレポートの作成:** インベントリーまたはその他のデータレポートを HTML、マークダウン、CSV などのさまざまなファイル形式にエクスポートし、ニーズに応じて柔軟にデータを出力します。Ansible Automation Platform でテンプレートを作成する方法をご覧ください。
- ▶ **リソース制限の監視:** クラウドのスプロールやオーバプロビジョニングを制御し、ハイブリッドクラウド上でのリソース制限を監視してリソースの可用性を維持します。これは Ansible Playbook を実装することで実現できます。中央処理装置 (CPU) の最大使用率、最大メモリー使用率、ストレージ使用量など、さまざまなインスタンスからデータポイントが取得され、システムの正常性やリソース使用率をより良く理解できます。自動アラートを設定して、これらの制限に達したときや、制限に近づいているときに通知を受けることができます。
 - ▶ Google Compute インスタンスに関する構造化データの取得方法
 - ▶ クラウドネイティブサービス Google Kubernetes Engine (GKE) に関する構造化データの取得方法これらのユースケースは自動化の導入を始めたあらゆる組織にとって役立ちますが、エントリーレベルのユースケースはこれらだけではありません。Ansible Automation Platform のインタラクティブラボでその他の選択肢をご確認ください。

インフラストラクチャの可視性をどこから始めるかを知る

Red Hat のインフラストラクチャの可視性に関する自習型ラボを無料でお試しください。



Red Hat について

Red Hat は、受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
t twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat